

IM-FormaDesigner

Version 7.2

リリース・ノート

2014/05/09 第7版

1 はじめに

1. IM-FormaDesigner が動作するには、intra-mart WebPlatform／AppFramework Version 7.2.4 および IM-Workflow Version 7.2.6 が必要です。最新パッチの適応を推奨します。
2. 本ドキュメントは本製品固有の要件を記載しています。以下に記載のないものは、intra-mart WebPlatform／AppFramework 付属の製品ドキュメントをご参照ください。
3. 弊社では、本ドキュメントに記載されている『検証済み環境』にて動作確認を行っています。
4. 弊社の提供する各ドキュメントに『非推奨』という言葉がありますが、これは「サポートしません」という意味ではありません。サポートは致しますが、将来なくなる可能性があるため、新しい機能および API を使うことを推奨するという意味で使用しております。
5. 弊社の提供するドキュメントに記載の無い全ての事柄は、サポート対象外です。
6. 本製品に関する最新の技術情報やパッチ情報は下記のサイトをご覧ください。
Developer Support site : <http://www.intra-mart.jp/developer/index.html>
7. 本製品に関するドキュメントは、下記のサイトにおいて最新のドキュメントが公開されています。最新のドキュメントをご利用ください。
製品最新情報ダウンロードページ : <http://www.intra-mart.jp/download/product/index.html>

8. 本製品には、以下によって開発されたソフトウェアが含まれています。ソフトウェアのライセンスについては、各ライセンスシートをご参照ください。

OSS 製品	version	licenses	URL
jQuery	1.6.2	MIT	http://jquery.com/
jQuery UI	1.8.16	MIT	http://jqueryui.com/
jqGrid	4.2.0	MIT	http://www.trirand.com/blog/
CLEditor	1.3.0	MIT	http://premiumsoftware.net/cleditor
simpleColorPicker	(May 07, 2011)	オリジナル	https://github.com/rachel-carvalho/simple-color-picker
ContextMenu	r2	MIT	http://www.trendskitchens.co.nz/jquery/contextmenu/
jQuery Browser	2.3	MIT	http://jquery.thewikies.com/browser/

licenses	
MIT	MIT License

2 機能一覧

以下に本製品の機能一覧を列挙します。本製品の機能では、以下のユーザ・ロケール設定に対応しています。

- 日本語
- 英語
- 中国語(簡体字)

ただし、ユーザ・ロケールに英語または中国語(簡体字)を利用するには、必ず **intra-mart WebPlatform / AppFramework Version 7.2** および **IM-Workflow Version 7.2** の英語コンテンツ、中国語コンテンツ(簡体字)がインストールされている必要があります。

各機能の仕様や設定方法に関しては、各マニュアルまたはセットアップガイド等を参照してください。

2.1 アプリ作成機能

2.1.1 アプリ作成基本機能

機能	概要
アプリ一覧	作成したアプリケーションの一覧を表示する機能です。 以下のメニューにアクセスした際に表示される画面です。 <ul style="list-style-type: none">● メニュー[Forma アプリ作成]-[アプリ作成]-[アプリ一覧] アプリケーションはログイングループ単位で作成・管理します。 上記メニューにアクセスする権限を持つユーザは、アプリケーションを作成・編集することができます。
アプリ作成・編集	アプリケーションを作成・編集する機能です。主な機能は以下の通りです。 <ul style="list-style-type: none">● アプリ新規作成・編集・削除 作成可能な種別: 標準/IM-Workflow● 対象ロケール設定 設定可能なロケール: 日本語/英語/中国語(簡体字)● アプリ履歴追加・編集・削除● ユーザプログラム追加・編集・削除<ul style="list-style-type: none">➢ 入力チェックプログラム➢ 後処理プログラム● テーブル設定 (テーブル作成/更新/削除)● アプリ操作権限設定 ロール/ユーザ/組織/パブリックグループ単位に参照/登録/更新/削除権限が設定可能● 一覧画面/登録画面のメニュー追加・編集・削除● 一覧画面表示項目設定
アプリ移行	作成したアプリケーションをエクスポート・インポートする機能です。たとえば、任意のログイングループで作成したアプリケーションをエクスポートし、他のログイングループにインポートすることができます。

2.1.2 IM-Workflow連携設定機能 (WF連携設定機能)

機能	概要
WF 連携設定	アプリケーション種別「IM-Workflow」で作成したアプリケーションについて、IM-Workflow のコンテンツ定義を作成し、承認画面設定、案件プロパティ設定、追記設定が行える機能です。 以下のメニューにアクセスした際に表示される画面です。 ● メニュー[Forma アプリ作成]-[アプリ作成]-[WF 連携設定] 上記メニューにアクセスする権限を持つユーザは、WF 連携設定を行えます。
WF コンテンツ作成	アプリケーション種別「IM-Workflow」で作成したアプリケーションから IM-Workflow のコンテンツ定義を作成する機能です。
承認画面設定	各承認ノードに対して、表示するフォームを設定する機能です。
案件プロパティ設定	各申請・承認ノードの画面で入力・更新された値を案件プロパティに格納設定する機能です。
追記設定	承認ノードのフォーム内に配置された各画面アイテムについて、承認者が追記できるように設定する機能です。

2.1.3 データソース定義機能

機能	概要
グループ DB クエリ	ログイングループデータベースからデータを取得するためのクエリを定義する機能です。 データソース定義はログイングループ単位で作成・管理します。 以下のメニューにアクセスした際に表示される画面です。 ● メニュー[Forma アプリ作成管理]-[データソース定義]-[グループ DB クエリ] 上記メニューにアクセスする権限を持つユーザは、ログイングループデータベースに対するクエリを作成することができます。
システム DB クエリ	システムデータベースからデータを取得するためのクエリを定義する機能です。 データソース定義はログイングループ単位で作成・管理します。 以下のメニューにアクセスした際に表示される画面です。 ● メニュー[Forma アプリ作成管理]-[データソース定義]-[システム DB クエリ] 上記メニューにアクセスする権限を持つユーザは、システムデータベースに対するクエリを作成することができます。
データソース定義移行	作成したデータソース定義をエクスポート・インポートする機能です。たとえば、任意のログイングループで作成したデータソース定義をエクスポートし、他のログイングループにインポートすることができます。

※データソース定義機能とは、画面アイテムからデータを参照利用できるように、データソースにアクセスする際に必要な入力パラメータと、データソースから取得できる出力パラメータを定義する機能です。

2.1.4 採番ルール定義機能

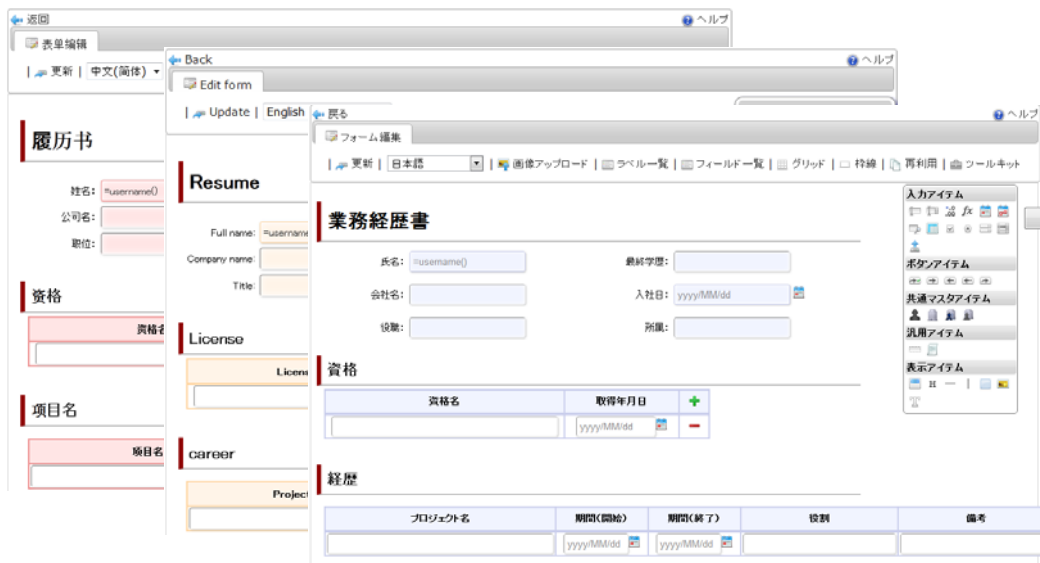
機能	概要
採番ルール定義	フォーム画面で採番を使用するための、採番の設定をする機能です。 以下のメニューにアクセスした際に表示される画面です。 <ul style="list-style-type: none">● メニュー[Forma アプリ作成管理]-[採番ルール定義一覧] 上記メニューにアクセスする権限を持つユーザは、採番ルール定義を行えます。

2.1.5 フォーム・デザイン機能

フォーム画面を作成するための機能です。

詳細な機能については、デザイン画面よりヘルプをご覧ください。

機能	概要
フォーム作成基本機能	フォーム画面を作成するための基本機能は以下の通りです。 <ul style="list-style-type: none">● 画面アイテムの配置● 配置した画面アイテムの移動、リサイズ● 配置した画面アイテムのプロパティ設定 設定した内容が即時に反映されるため、プレビューを確認しながらフォーム画面を作成できます。
ロケール変更	アプリケーション作成時に設定した「対象ロケール」に切り替え、各ロケールのラベルが設定できる機能です。
画像アップロード	フォームで使用する画像をアップロードする機能です。
ラベル一覧	フォームに配置した画面アイテムのラベルを一覧表から編集できる機能です。「対象ロケール」のラベルも一覧表から編集できます。
フィールド一覧	フォームに配置した画面アイテムの内、フィールド項目について一覧表からフィールド識別 ID やフィールド識別名を編集できる機能です。「対象ロケール」のフィールド識別名も一覧表から編集できます。
グリッド	画面アイテムの位置を調整しやすいように、フォームエリアにグリッドを表示する機能です。
枠線	フォームに配置した画面アイテムについて常に枠線を表示する機能です。
再利用	登録済みのフォームからコピーする機能です。
ツールキット	ツールキットを表示する機能です。



参考:各ロケール、各カラーパターン毎のフォームデザイナー画面のイメージ
 ※左から「中国語(赤)」「英語(オレンジ)」「日本語(青)」





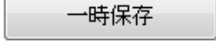







2.1.6 画面アイテム

画面アイテムとは、フォーム・デザイナーでフォーム画面上に配置できる画面部品です。

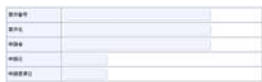
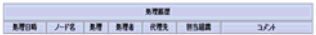


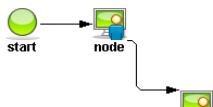
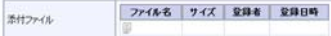



製品に同梱されている画面アイテム一覧とそれぞれの機能は以下の通りです。画面アイテムは、独自に開発することができ、フォーム・デザイナーから利用することができます。詳細はヘルプをご覧ください。

カテゴリ	アイテム名	概要	イメージ										
入力アイテム	文字列	1行のみのテキストを入力・登録するアイテム	テキスト: <input type="text"/>										
	複数行文字列	複数行にわたるテキストを入力・登録するアイテム	テキスト: <input type="text"/>										
	数値	数値を入力・登録するアイテム	数値: <input type="text" value="0"/>										
	関数	関数の結果を表示・登録するアイテム	評価値: <input type="text" value="=1 + 2"/>										
	日付	カレンダーから日付を入力・登録するアイテム	日付: <input type="text" value="yyyy/MM/dd"/>										
	期間	日付期間を入力・登録するアイテム	期間: <input type="text" value="yyyy/MM/dd"/> - <input type="text" value="yyyy/MM/dd"/>										
	一覧選択	一覧データから選択・登録するアイテム	ラベル: <input type="text" value="0"/>										
	明細テーブル	明細形式で入力・登録するアイテム	明細テーブル: <table border="1"><thead><tr><th>列</th><th>列</th><th>列</th><th>列</th><th>+</th></tr></thead><tbody><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>-</td></tr></tbody></table>	列	列	列	列	+					-
	列	列	列	列	+								
					-								
	チェックボックス	チェックボックスから複数選択・登録するアイテム	チェックボックス: <input type="checkbox"/> 項目名未定義										
	ラジオボタン	ラジオボタンから選択・登録するアイテム	ラジオボタン: <input checked="" type="radio"/> 項目名未定義										
	セレクトボックス	セレクトボックスで複数の値から単一の値を選択するアイテム	セレクトボックス: <input type="text" value="プロパティ設定値"/> ▼										
リストボックス	リスト項目から複数選択・登録するアイテム	リストボックス: <input type="text" value="項目名未定義"/>											
ファイルアップロード	アップロードした画像を表示するアイテム	添付ファイル: <table border="1"><thead><tr><th>ファイル名</th><th>備考</th><th>更新日</th><th>+</th></tr></thead><tbody></tbody></table>	ファイル名	備考	更新日	+							
ファイル名	備考	更新日	+										

(画面アイテム一覧続き)

カテゴリ	アイテム名	概要	イメージ
ボタンアイテム	ボタン(登録)	登録・申請するボタンアイテム	
	ボタン(次へ)	次ページへ遷移するボタンアイテム	
	ボタン(戻る)	前ページへ遷移するボタンアイテム	
	ボタン(一覧へ戻る)	一覧へ遷移するボタンアイテム	
	ボタン(一時保存)	一時保存するボタンアイテム	
共通マスタ アイテム	ユーザ選択	IM-共通マスタの検索画面からユーザ を選択・登録できるアイテム	ユーザ名: <input type="text"/>  
	所属組織選択	自身が所属している組織をセレクトボッ クスから選択・登録できるアイテム	所属組織選択: <input type="text" value="所属組織名"/> 
	組織選択	IM-共通マスタの検索画面から組織を 選択・登録できるアイテム	組織名: <input type="text"/>  
	組織+役職選択	IM-共通マスタの検索画面から組織に 紐づく役職を選択・登録できるアイテム	役職名: <input type="text"/>  

(画面アイテム一覧続き)

カテゴリ	アイテム名	概要	イメージ
WF アイテム	案件情報表示	案件情報を表示するアイテム ※workflowMatterData タグを利用	
	処理履歴表示	処理履歴を表示するアイテム ※workflowMatterHistory タグを利用	
	確認履歴表示	確認履歴を表示するアイテム ※workflowConfirmHistory タグを利用	
	印影表示	印影の押印情報を表示するアイテム ※workflowStampList タグを利用	
	フロー画像表示	フロー画像を表示するアイテム ※workflowMatterImage タグを利用	
	添付ファイル表示	案件に添付されているファイルを表示するアイテム ※workflowMatterFile タグを利用	
汎用アイテム	隠しパラメータ	目に見えない値を保持・登録するアイテム	
	スクリプト	スクリプトコードを配置するアイテム	
	ボタン(イベント)	ボタン押下時にスクリプトコードを実行するボタンアイテム	
	採番	採番ルール定義と連携し採番を行うアイテム	採番番号: <input type="text"/>

(画面アイテム一覧続き)

カテゴリ	アイテム名	概要	イメージ
表示アイテム	タイトルバー	フォームのタイトルバーを表示するアイテム	
	見出し	内容の区切りのためのヘッダーを表示するアイテム	
	横線	横線を表示するアイテム	
	縦線	縦線を表示するアイテム	
	正方形/長方形	正方形/長方形を表示するアイテム	
	イメージ	アップロードした画像を表示するアイテム	
	ラベル	装飾された文章を表示するアイテム	

2.1.6.1 [参考] 演算子・関数一覧

画面アイテム「関数」で利用可能な演算子と関数は以下の通りです。

関数カテゴリ	関数名	関数概要
演算子	+	足し算をする
	-	引き算をする
	*	掛け算をする
	/	割り算をする
	=	左辺と右辺が等しい
	<>	左辺と右辺が等しくない
	>	左辺が右辺よりも大きい
	>=	左辺が右辺以上
	<	左辺が右辺よりも小さい
	<=	左辺が右辺以下
条件式用関数	if	条件判定の関数
	and	複数条件判定の関数
	or	複数条件判定の関数
	not	条件式の結果を反転する関数
	isNumber	対象が数値か否かを確認する関数
文字列系関数	concat	複数の文字列を連結する
数値系関数	sum	複数の数値を合計する
	avg	複数の数値の平均を求める
	max	複数の数値の最大値を求める
	min	複数の数値の最小値を求める
	round	数値の四捨五入をする
	roundup	数値の切り上げをする
	rounddown	数値の切り捨てをする
日付系関数	dateformat	日時数値をフォーマットする
	datevalue	フォーマットされた日時を日時数値へ戻す
	today	現在の日付を取得する
	now	現在の日時を取得する
	getDateFormat	日付アイテムのフォーマットを取得する
	getDateTime	日付アイテムの日時を取得する
ログインユーザ系関数	user	ログインユーザコードを取得する
	username	ログインユーザ名を取得する
	loginGroup	ログイングループコードを取得する
	locale	ログインユーザのロケール ID を取得する
	encoding	ログインユーザのエンコーディングを取得する
	mail	ログインユーザのメールアドレスを取得する
	mblmail	ログインユーザのモバイルメールアドレスを取得する

※関数名は、大文字・小文字を区別します。

(関数一覧続き)

関数カテゴリ	関数名	関数概要
ワークフロー系関数 (申請関連)	applyBaseDate	ワークフローの申請基準日を取得する
	applyBaseDateValue	ワークフローの申請基準日時を取得する
	applyDate	ワークフローの申請日を取得する
	applyDateValue	ワークフローの申請日時を取得する
	applyActFlag	ワークフローの申請代理フラグを取得する
	applyAuthUserCode	ワークフローの申請権限者コードを取得する
	applyAuthUserName	ワークフローの申請権限者名を取得する
	applyExecuteUserCode	ワークフローの申請実行者コードを取得する
	applyExecuteUserName	ワークフローの申請実行者名を取得する
ワークフロー系関数 (案件関連)	matterName	ワークフローの案件名を取得する
	matterNumber	ワークフローの案件番号を取得する
	matterEndStatusCode	ワークフローの案件完了状態を取得する
	matterStatusCode	ワークフローの案件状態を取得する
	matterPriorityLevel	ワークフローの案件優先度を取得する
	matterStartDate	ワークフローの案件開始日を取得する
	matterStartDateValue	ワークフローの案件開始日時を取得する
	matterLastProcessDate	ワークフローの最終処理日を取得する
	matterLastProcessDateValue	ワークフローの最終処理日時を取得する
	matterCplDate	ワークフローの案件終了日を取得する
	matterCplDateValue	ワークフローの最終処理日時を取得する
	matterArchiveMonth	ワークフローのアーカイブ年月を取得する
	matterArchiveMonthValue	ワークフローのアーカイブ年月日時を取得する
	flowName	ワークフローのフロー名を取得する
flowVersionId	ワークフローのフローバージョン ID を取得する	

※関数名は、大文字・小文字を区別します。

2.1.6.2 [参考] 明細テーブル列タイプ一覧

画面アイテム「明細テーブル」で利用可能な列のタイプは以下の通りです。

明細列タイプ	概要
文字列	1行のみのテキストを入力・登録する列タイプ
数値	数値を入力・登録する列タイプ
日付	カレンダーから日付を入力・登録する列タイプ
隠しパラメータ	非表示の列として、値を保持・登録する列タイプ
関数	関数の結果を表示・登録する列タイプ
一覧選択	一覧データから選択・登録する列タイプ

2.2 アプリ利用基本機能

IM-FormaDesigner で作成したアプリケーションには、以下の基本機能があります。

機能	概要
一覧画面表示機能	登録されたデータを一覧表示する画面です。 参照権限のあるユーザがアクセスできます。 権限設定に応じて、ログインユーザごとに参照データや操作できる範囲が制御されます。
検索機能	一覧画面で表示されている項目に対して、検索条件を指定し、検索できる機能です。参照権限のあるユーザがアクセスできます。
削除機能	一覧画面で表示されているデータを削除する機能です。 削除権限のあるユーザが削除できます。
更新 URL 機能	編集画面へのショートカット URL を生成する機能です。 参照権限のあるユーザが利用できます。
詳細 URL 機能	詳細画面へのショートカット URL を生成する機能です。 参照権限のあるユーザが利用できます。
登録画面表示機能	データを新規に登録する画面です。 登録権限のあるユーザがアクセスできます。 データ登録時には、各画面アイテムに設定された入力チェックが行われます。
編集画面表示機能	登録されたデータを編集する画面です。 更新権限のあるユーザがアクセスできます。 データ更新時には、各画面アイテムに設定された入力チェックが行われます。
詳細画面表示機能	登録されたデータの詳細を表示する画面です。 参照権限のあるユーザがアクセスできます。
PDF 出力機能	登録されたデータを PDF ファイルに出力する機能です。 参照権限のあるユーザが出力できます。
WF 申請画面表示機能	IM-Workflow の申請用画面を表示する機能です。 申請時には、各画面アイテムに設定された入力チェックが行われます。フロー定義に申請権限のあるユーザがアクセスできます。
WF 再申請画面表示機能	IM-Workflow の再申請用画面を表示する機能です。 再申請時には、各画面アイテムに設定された入力チェックが行われます。フロー定義に申請権限のあるユーザがアクセスできます。
WF 承認画面表示機能	IM-Workflow の承認用画面を表示する機能です。 WF 連携設定に応じた承認画面が表示されます。フロー定義に承認権限のあるユーザがアクセスできます。
WF 確認画面表示機能 /WF 詳細画面表示機能	IM-Workflow の確認用画面および未処理一覧/処理済一覧での案件の詳細を表示する機能です。 フロー定義に参照権限のあるユーザがアクセスできます。
WF 申請書再利用機能	申請済みの案件の内容を、再利用して申請する機能です。 フロー定義に申請権限のあるユーザが利用できます。

2.3 その他

2.3.1 サンプルアプリケーション一覧

アプリケーションID	アプリケーション名	備考	種別
sample_enquete	アンケート	コピー機についてのアンケートサンプル	標準
sample_keireki	業務経歴書	明細アイテムの複数個配置したサンプル	標準
sample_bihin_mgr	備品管理	備品持出申請書での備品一覧選択で使用するマスタ管理用	標準
sample_nittoryohi_mgr	日当・宿泊費登録	出張旅費精算書で利用する日当・宿泊費マスタ管理用	標準
sample_address_chg	住所等変更届	IM-Workflow連携用の申請書サンプル	IM-Workflow
sample_bihin_mochidashi	備品持出申請書	一覧選択アイテムを利用した一般的な申請書サンプル	IM-Workflow
sample_ringi	稟議書	ファイルアップロードアイテムがある、シンプルな申請書サンプル	IM-Workflow
sample_travelexpenses	出張旅費精算書	各種アイテムと一覧選択、関数(ユーザ名表示、小計、合計計算)、スクリプト(動的項目制御、IME制御)を組み合わせたサンプル	IM-Workflow

3 システム要件

3.1 サーバ要件

intra-mart WebPlatform/AppFramework Ver.7.2 のサーバ要件に準拠します。

ただし、PDF 出力機能を利用する場合、wkhtmltopdf が動作する OS に依存するために、サーバ OS は下記に制限されます。

サーバ OS	wkhtmltopdf
Windows Server 2003 R2	0.11.0_rc1
Windows Server 2008	0.11.0_rc1
Windows Server 2008 R2	0.11.0_rc1
Red Hat Enterprise Linux 5	0.9.9

※wkhtmltopdfの詳細は「<http://code.google.com/p/wkhtmltopdf/>」を参照してください。

3.2 クライアント要件

Webブラウザの要件は以下の通りです。「2.1 アプリ作成機能」(以下「アプリ作成」と略す)と「2.2 アプリ利用基本機能」(以下「アプリ利用」と略す)の機能ごとにWebブラウザ要件が異なります。

ブラウザ	OS	アプリ作成	アプリ利用
Internet Explorer 7.0	Windows Vista SP2		○
Internet Explorer 8.0	Windows Vista SP2 Windows 7	○	○
Internet Explorer 9.0	Windows Vista SP2 Windows 7	○	○
Internet Explorer 10.0(※1)	Windows 7 Windows 8	○	○
Internet Explorer 11.4(※2)	Windows 7 Windows 8.1	○	○
Firefox 3.5 (※3)	Windows Vista SP2 Windows 7		○
Firefox 7.0 (※4)	Windows Vista SP2 Windows 7	○	○
Safari 4.0	Mac OS X 10.6 (Snow Leopard)		○
Safari 5.1	Mac OS X 10.6 (Snow Leopard)	○	○

下記の画面は、**Flash Player10** が必要です。

- 「2.1.1 アプリ作成基本機能」のメニュー設定機能

スマートフォンの場合、以下のクライアントに対応しています。

- iOS 4.2 以降に搭載される Safari
- Android 2.2 に搭載される Browser (Android 標準のブラウザ)

(※1) Internet Explorer10 は、デスクトップ用 Internet Explorer のみです。Windows UI の Internet Explorer はサポート対象外です。Internet Explorer 10 については、下記を参照してください。

[http://msdn.microsoft.com/ja-jp/library/ie/hh771832\(v=vs.85\).aspx](http://msdn.microsoft.com/ja-jp/library/ie/hh771832(v=vs.85).aspx)

Internet Explorer 10 を利用する場合は、Response ヘッダに「X-UA-Compatible: IE=EmulateIE9」を追加するフィルタの設定を行う必要があります。設定方法の詳細は「intra-mart WebPlatform / AppFramework セットアップガイド」の最新版(7.2.6 以降)を参照してください。

(※2) Internet Explorer 11 は、デスクトップ用 Internet Explorer のみです。Windows UI の Internet Explorer はサポート対象外です。

Internet Explorer 11 を利用する場合は、Response ヘッダに「X-UA-Compatible: IE=EmulateIE9」を追加するフィルタの設定を行う必要があります。設定方法の詳細は、弊社 FAQ サイトの FAQ 番号:366 を参照してください。

また、Internet Explorer 11.2 以下のバージョンでは、一部画面でエラーが発生します。最新のマイナーバージョンをお使いください。

(※3) Firefox 3.5 は、継続して弊社製品でのサポート範囲ですが、Firefox 3.5 自体のサポートが終了しているため、障害の原因が Firefox 3.5 自体で起因する問題の場合、弊社では対処できませんのご了承ください。

(※4) Firefox は高速リリースサイクルに移行し、今後 Firefox の新バージョンが順次リリースされます。

[参考] Firefox のリリーススケジュール <https://wiki.mozilla.org/RapidRelease/Calendar>

今後の Firefox の新バージョンについても順次サポートいたします。ただし、障害の原因が Firefox 自体で起因する問題の場合、弊社では対処できませんのご了承ください。

3.3 検証済み環境

以下、弊社動作検証済み(推奨)の intra-mart 製品と他社ミドルウェア製品との組み合わせを記します。弊社では以下の環境をサポートしますが、intra-mart 製品以外(OS、JDK、DB、Mail サーバ等)に起因する問題が発生した場合は保証致しかねます。

3.3.1 Service PlatformおよびServer Manager

サーバ OS	ミドルウェア
Windows Server 2008 R2 Enterprise	Java SE Development Kit 6u17 for Windows x64
Red Hat Enterprise Linux 5.4 Advanced Platform	Java SE Development Kit 6u17 for Linux x64

intra-mart AppFramework の場合、ApplicationRuntime の動作する環境は、Web アプリケーションサーバ製品の仕様に依存します。

3.3.2 Web Server Connector (WebPlatform(Resin)のみ)

サーバ OS	ミドルウェア
Windows Server 2008 R2 Enterprise	IIS7.5
Red Hat Enterprise Linux 5.4 Advanced Platform	Apache2.2.14 (DSO サポート版)

3.3.3 Application Runtime

intra-mart 製品	Web Application サーバ
intra-mart WebPlatform Ver. 7.2.4	Resin 3.1.12
intra-mart AppFramework Ver. 7.2.4	IBM WebSphere Application Server Ver. 7.0.0.19
	Oracle WebLogic Server 11g Release 1 (10.3.2)

3.3.4 データベース

データベース	サーバOS	接続方法	接続に必要なソフトウェア
Oracle Database 11g Release 2	Red Hat Enterprise Linux 5.1 Advanced Platform	JDBC (Type4 非XA)	Oracle JDBC Driver 11.2.0.1.0 (ojdbc6.jar)
Microsoft SQL Server 2008	Windows Server 2008 R2 Enterprise	JDBC (Type4 非XA)	Microsoft SQL Server JDBC Driver 2.0
IBM DB2 9.7	pSeries 64Bit AIX6.1	JDBC (Type4 非XA)	DB2 JDBC Driver (IBM DB2 9.7に付属) Type4
PostgreSQL 8.4.2	Red Hat Enterprise Linux 5.1 Advanced Platform	JDBC (Type4 非XA)	JDBC4 PostgreSQL Driver, Version 8.4-701

- DB2 の JDBC ドライバは db2jcc.jar で検証しています。
JDBC4.0 対応の JDBC ドライバ(db2jcc4.jar)を使用した場合、正しく動作しないことが確認されています。
- PostgreSQL は、UTF-8 でのみ検証しています。

3.3.5 検証環境

No	Web/Application サーバ	サーバ OS	JDK	データベース	サーバ OS
1	Apache2.2.14 (WebServer Connector) + intra-mart WebPlatform (Resin) (Resin 3.1.12)	Red Hat Enterprise Linux 5.4 Advanced Platform	Java SE Development Kit 6u17 for Linux x64	Oracle Database 11g Release 2	Red Hat Enterprise Linux 5.1 Advanced Platform
2	IIS7.5 (WebServer Connector) + intra-mart WebPlatform (Resin) (Resin 3.1.12)	Windows Server 2008 R2 Enterprise	Java SE Development Kit 6u17 for Windows x64	Microsoft SQL Server 2008	Windows Server 2008 R2 Enterprise
3	intra-mart AppFramework (IBM WebSphere Application Server Ver. 7.0.0.19)	Windows Server 2008 R2 Enterprise	IBM SDK for multiplatforms, Java Technology Edition, V6.0	IBM DB2 9.7	Windows Server 2008 R2 Enterprise
4	intra-mart AppFramework (Oracle WebLogic Server 11g Release1 (10.3.2))	Red Hat Enterprise Linux 5.4 Advanced Platform	Java SE Development Kit 6u17 for Linux x64	PostgreSQL 8.4.2	Red Hat Enterprise Linux 5.1 Advanced Platform

3.3.6 クライアント(Webブラウザ)

クライアントに関しては、下記の環境にて動作が確認されています(動作検証済のブラウザを推奨します)。

- Windows Vista SP2 + Internet Explorer 7.0
- Windows Vista SP2 + Internet Explorer 8.0
- Windows 7 + Internet Explorer 9.0
- Windows Vista SP2 + Internet Explorer 9.0
- Windows 7 + Internet Explorer 10.0(10.0.9)
- Windows 8 + Internet Explorer 10.0(10.0.9)
- Windows 8.1 + Internet Explorer 11.4
- Windows Vista SP2 + Firefox 3.5.8
- Mac OS X 10.6.2 + Safari 4.0.5
- Mac OS X 10.6.8 + Safari 5.1(6534.50)

また、以下のスマートフォンおよびタブレットにて動作が確認されています。

- NTT DoCoMo GALAXY S SC-02B
- NTT DoCoMo LYNX 3D SH-03C
- SoftBank iPhone 4

4 制限事項

4.1 共通

1. 本製品でユーザ・ロケールに英語を利用する場合、必ず **intra-mart WebPlatform／AppFramework Version 7.2** および **IM-Workflow Version 7.2** の英語コンテンツをインストールしてください。
2. 本製品でユーザ・ロケールに中国語(簡体字)を利用する場合、必ず **intra-mart WebPlatform／AppFramework Version 7.2** および **IM-Workflow Version 7.2** の中国語(簡体字)コンテンツをインストールしてください。
3. **Internet Explorer**、**Firefox**、**Safari** およびスマートフォンでは、スタイルシートの処理や既定フォントの設定が異なるため、画面の表示イメージが異なる場合があります(**Firefox** ではグラデーションが表示されない、テキストエリアの文字が大きく表示される、**Internet Explorer** では角が丸くならない等)。この影響により、たとえば **IE9** でアプリを作り、そのアプリを違うブラウザ(**IE8** や **Firefox** 等)で見ると、アイテムの右端・下端が少し切れてしまう場合があります。この現象は画面アイテム「ラベル」で発生しやすいです。この問題については製品としての制御が難しいため、良い解決方法が見つかるまでは大きめに横幅と縦幅のサイズをとって回避してください。なお、ブラウザ製品によって発生する表示の違いが、スタイルシートの解釈や既定フォントの相違によるものである場合、本製品の不具合ではありませんので予めご了承ください。
4. 多言語環境においては、**IM-共通**マスタで未定義ロケールが存在しないようにしてください。未定義ロケールが存在する場合、**共通**マスタ系の画面アイテムや **IM-Workflow** が正常に動作しません。
5. **PDF** 出力機能を利用する場合、**intra-mart WebPlatform／AppFramework Version 7.2** をインストールする OS は **wkhtmltopdf** が利用できる OS に制限されます。
6. その他、**intra-mart WebPlatform／AppFramework Ver.7.2**、**IM-Workflow Ver.7.2** の制限事項に準拠しています。
7. ワークフロー連携時に、**IM-Workflow** の **API** を利用しての申請処理等、**IM-FormaDesigner** で作成した画面を経由しない処理を行うことはできません。

4.2 アプリ作成機能

1. アプリ作成・編集機能で選択可能な対象ロケールは、システムに登録されているロケールになります。
2. アプリ作成・編集機能で、アプリケーション作成後に対象ロケールを追加した場合、必ず各フォーム情報や各画面アイテムのラベルに追加したロケールの情報を設定してください。設定しない場合、正常に動作しません。
3. アプリケーション作成後にアプリケーション種別を切り替えた場合、必ずフォーム画面上に配置した各画面アイテムの設定が正しいか確認し、更新してください。
4. データソース定義機能のクエリ詳細画面では自由に **SQL** を記述できます。**DDL** を記載した場合であっても動作する可能性がありますので、**DDL** は記載しないでください。またセキュリティの観点から、この機能を利用できる権限はアプリ開発管理者のみにメニューで制限してください。
5. データソース定義機能において、画面アイテムから利用されているデータソース定義の入力項目や出力項目を追加・削除した場合、そのデータソース定義を利用している画面アイテムの設定を修正してください。
6. フォーム画面を更新した場合、その変更は即時に反映されます。既に運用を開始している場合にフォーム画面を更新する必要がある場合、アプリケーション履歴機能を利用してください。

7. 配置する画面アイテムの種類や個数によっては、ブラウザでの画面描画が遅くなる場合があります。ブラウザでの画面描画速度は、アプリ利用者のマシンスペックに依存するため、アプリ利用者のマシンスペックに応じたフォーム画面の作成をご検討ください。
8. 1つのフォーム画面に配置できる画面アイテム数は最大 990 個です。
9. フォーム・デザイナーにおいて、画面アイテムのプロパティ画面を開いた際、プロパティ画面はウィンドウ上部に表示されます。縦に長い画面を構築する場合、下部の画面アイテムのプロパティ画面を開いた際には、プロパティ画面はウィンドウ上部に表示されます。
10. フォーム・デザイナーでフォーム画面を作成する際、配置した画面アイテムのサイズはピクセル(px)で指定しています。しかし、ブラウザによっては少し広がって表示される場合があります、画面アイテムの横幅や高さが小さすぎると一部切れて表示される場合があります。この場合、画面アイテムの横幅と高さを少し大きめに設定して回避してください。
11. アプリケーションのインポート機能において、サーバモジュールの文字コードが異なる環境で作られたアプリケーションをインポートする場合、ラベル等が文字化けします。文字化けを回避する方法は操作ガイドをご覧ください。
12. フォーム・デザイナーで画面アイテムのプロパティ画面をマウスのダブルクリックで開く場合、フォーム画面を開いた直後、またはフォームを更新した直後ではプロパティ画面は開きません。もう一度ダブルクリックするとプロパティ画面が開きます。本事象は、画面アイテムの初期化が発生したときに起こります。
13. Internet Explorer でフォーム・デザイナーを開いた場合、ロケール変更のコンボボックスが切れて表示されます。たとえば、「日本語」と表示されるべきところが「日本」と表示されます。コンボボックスからロケール変更を行うことで、「日本語」と表示されるようになります。
14. スマートフォン用のメニューの編集はグループ管理者のメニュー設定機能より行ってください。詳細は操作ガイドをご覧ください。
15. 複数フォームのアプリケーションを作成したときに、メインフォームに配置していない入力系の画面アイテムは「フィールド値 DB 登録」オプションを無効にしてください。
16. 画面アイテム「ラベル」の文字数チェックにおいて、末尾の改行文字は文字数としてカウントされません。
17. 画面アイテムで色を選択する部品「カラーピッカー」において、カラーピッカー起動後に、プロパティ画面を移動すると、プロパティ画面は移動しますが、カラーピッカーは開いた位置に留まります。カラーピッカーから色を選択するか、入力フィールドからフォーカスを外すことでカラーピッカーは閉じます。
18. 画面アイテム「複数行文字列」の入力チェックで最大入力文字数を指定した場合、その値が `textarea` タグの `maxlength` 属性値に指定されます。しかし、ブラウザによってはこの `maxlength` 属性が機能せず、最大入力文字数を超える文字を入力できてしまいます。データの登録時/更新時には、サーバサイドで入力チェックを行っているため、最大入力文字数を超える文字がデータベースに登録されることはありません。
19. 画面アイテム「スクリプト」は、フォーム画面上にスクリプトを自由に記述することができます。ただし、悪意のあるコードが記述されたとしても制限することができません。 `forma-config` で設定を行うと、画面アイテム「スクリプト」を使用できないようにすることができます。詳細はマニュアルをご覧ください。

20. 画面アイテム「明細テーブル」および「ファイルアップロード」を配置する際は、以下のように他の画面アイテムと重なっていると、行追加またはファイル追加した際に、他の画面アイテムの表示位置が下に移動します。

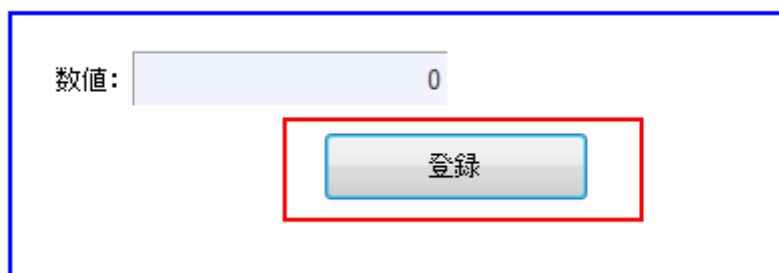


例: 明細テーブルとボタンが重なっている場合、明細テーブルの行追加を行うと登録ボタンの表示位置が下に移動します。

もし行追加したときに移動させたくない場合は、以下のように明細テーブルと重ならないように配置してください。



21. 画面アイテム「ファイルアップロード」におけるファイル選択は、iPhone などのスマートフォン端末によってはファイルの選択が行えません。
22. 画面アイテム「日付」等で指定する表示フォーマットには、シングルクォーテーション文字が使用できません。使用した場合、画面が正常に表示されません。
23. 画面アイテム「タイトルバー」を配置し、「戻るリンクを表示」オプションが有効な場合に、フォーム・デザイナーのロケール変更をしても、タイトルバーのリンクはロケール切替されません。
24. 画面アイテム「ファイルアップロード」を配置し、フォーム・デザイナーのロケール変更をしても、項目名はロケール切替されません。
25. 画面アイテム「チェックボックス」「リストボックス」の送信値にカンマ「,」を含むデータを使用することはできません。複数項目が選択された場合は、送信値をカンマ区切りにしてデータベースに保存します。そのため、送信値にカンマ「,」を含むことはできません。
26. 画面アイテム(ボタンやチェックボックスなど)を重ねた際に、下のアイテムをクリックできない場合があります。



例: ボタンアイテムの上に数値アイテムが重なっている場合、ボタンアイテムをクリックできません。この場合、ボタンアイテムを数値アイテムの枠から出すか、数値アイテムより前面に配置してください。

27. Internet Explorerでフォーム・デザイナーを開く場合、Internet Explorerの互換表示機能は無効にしてください。互換表示が有効な状態では、フォーム・デザイナーの表示が崩れます。
参考: IE9 互換性表示
> <http://windows.microsoft.com/ja-JP/internet-explorer/products/ie-9/features/compatibility-view>

28. フォーム・デザイナーの「画像アップロード機能」において、アップロードするファイルのファイル名で使用できる文字は、半角英字文字、半角数字文字、アンダーバー(_)、ハイフン(-)、ピリオドとなります。それ以外の文字を利用した場合には以下のような事象が発生し、正常に動作しない場合があります。
- 事象1:ファイル名にシングルクォーテーション(')を含むファイルをアップロードすると、画像アップロード画面のファイル一覧にそのファイルが表示されません。
 - 事象2:ファイル名にマルチバイト文字を含むファイルをアップロードし、そのアプリケーションをエクスポートすると、そのファイルのファイル名が文字化けてしまいます。

29. SQL Server 使用時に、アプリケーション情報をエクスポートして、そのエクスポートしたアプリケーション情報をインポートすると、DDL 文で DATE 型が NVARCHAR になります。Microsoft SQL Server JDBC Driver 2.0 では、カラムのデータ型が DATE に対する Java のデータ型として、DATE 型ではなく、NVARCHAR 型と返却します。上記動作仕様に対して、弊社製品では吸収できないため、以下のいずれかの回避方法で回避をお願いいたします。

【回避方法 1】

以下のオペレーションを参考に、インポート後にテーブルを再作成してください。再作成することで、カラムデータ型が正しく DATE 型として作成されます。ただし、テーブルを再作成するため、そのテーブルに登録されていたデータが削除されます。

1. インポートした Forma アプリの編集画面の[テーブル設定]タブを開きます。
2. [削除]リンクを押下します。このとき確認ダイアログでオプション「アプリケーションデータを格納するテーブルも削除する。」を有効に、[OK]ボタンをクリックしてください。
3. [登録]リンクを押下します。適切なデータサイズを設定して、[登録]リンクを押下してください。以上で、テーブルを再作成することができます。

【回避方法 2】

エクスポートした zip ファイルを解凍し、data/table-settings/table-setting/ddl に記述されたテーブル作成用の DDL 文において、本来 DATE 型になるべきカラムのデータ型を修正し、再度 zip 形式で圧縮してください。

30. ~~アプリケーション種別「IM=Workflow」より作成された IM=Workflow のコンテンツでは、IM=Workflow の「連続処理」時に「対象処理」リンクは表示されません。その為、処理案件の切り替えを行うことはできません。~~
31. 画面アイテム「正方形/長方形」のプロパティ項目「枠の色」「背景色」に設定された値に制御文字・スクリプトコード等を設定すると、正常に動作しません。これは、画面アイテム「正方形/長方形」のプロパティ項目「枠の色」「背景色」の値は、エスケープ対象外のためです。
32. 画面アイテム「ラベル」でフォントを変更したフォームで PDF 出力機能を行った場合、ラベルに指定したフォントが wkhtmltopdf をインストールしたサーバに導入されていない場合は、サーバのブラウザの標準フォントの設定が適用されます。

5 これまでに判明している問題

1. 入力系の画面アイテムのラベル項目に文字「Y」を含むラベルを設定した場合、アプリ利用者で表示される画面では「YY」と「Y」が2つに増えて表示されます。今後のパッチで修正する予定です。
この問題は解消されました。
2. アプリ利用者が登録画面/更新画面等でテキストフィールドに「Y」を入力して登録/更新した際、その後編集画面/詳細画面では、「Y」が「YY」と2つに増えて表示されます。今後のパッチで修正する予定です。
この問題は解消されました。
3. フォーム・デザイナーのフィールド一覧機能より各画面アイテムに設定したタブインデックスが正常に動作しません。今後のパッチで修正する予定です。
この問題は解消されました。
4. 作成したアプリをスマートフォン用のメニューに登録し、スマートフォン用のメニューからアプリを開くと、スマートフォン用のメニューに戻ることができません。今後のパッチで改善する予定です。
この問題は解消されました。
5. 画面アイテム「一覧選択」または「ファイルアップロード」を配置したアプリケーションを一部の Android 系端末で閲覧した場合、一覧選択またはファイルアップロードを実行したときに表示が崩れます。通常、一覧選択画面やファイルアップロード画面が表示されたとき、他の入力項目やボタンを操作できなくなります。一部の Android 系端末の場合、その制御が働かず、他の入力項目やボタンを操作できてしまいます。今後のパッチで修正する予定です。
この問題は解消されました。
6. 画面アイテム「明細テーブル」を配置したアプリケーションの更新画面において、登録済みの明細行をすべて削除して更新しようとした場合、更新処理は成功したように表示されても、実際にはその明細行のデータは削除されません。この現象は明細行をすべて削除した場合にのみ発生します。今後のパッチで修正する予定です。
この問題は解消されました。
7. フォーム・デザイナーの画像アップロード機能で、画像ではないファイルもアップロードできてしまいます。今後のパッチで画像以外のファイルは登録できないように修正する予定です。
この問題は解消されました。
8. 画面アイテム「フロー画像表示」を配置している IM-Workflow アプリケーションの実行時において、Internet Explorer 9 ではフロー図が表示されない場合があります。この事象が発生する条件は以下の通りです。
 - 画面アイテム「フロー画像表示」のプロパティで表示方法にフレーム表示を設定している
 - アプリ実行画面をポップアップウィンドウで開く例:メニュー[ワークフロー]-[処理済み]から処理済画面を開き、案件の詳細を閲覧したとき
本事象は、画面アイテム「フロー画像表示」で利用しているタグ<imart type=" workflowMatterImage"/> と<imart type=" workflowMasterFlowImage" />の不具合(要件[17045])が原因です。
9. 画面アイテム「添付ファイル表示」を配置したアプリケーションを Android 系端末で閲覧し、添付されたファイルをダウンロードしようとしてもダウンロードできません。原因は調査中です。
10. 画面アイテム「確認履歴」を配置している IM-Workflow アプリケーションの実行時において、確認処理を行ったロケール以外のロケールを設定しているユーザが閲覧しようすると、確認履歴が表示されません。これは画面アイテム「確認履歴」で利用しているタグ「workflowMatterHistory」の不具合(要件[17064])が原因です。
11. intra-mart WebPlatform / AppFramework Version 7.2 多言語版インストール前に作成されたアプリケーションを、追加されたロケールを設定しているユーザが編集、操作を行うことができません。多言語版インストール前にインストールされていたロケールに切り替えることでアプリケーションの編集、操作を行うことができます。

6 著作権および特記事項

intra-mart は株式会社 NTT データ イントラマートの商標です。

Oracle と Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。

文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

他の会社名、製品名およびサービス名などはそれぞれ各社の商標または登録商標です。

本製品を使用する場合は、本製品に含まれる各ソフトウェアのライセンスについても同意したものとします。

各ソフトウェアのライセンスについては、同封のライセンスシートをご参照ください。

以上

7 変更履歴

変更年月日	変更内容
2011/11/28	初版
2012/01/27	第2版 <ul style="list-style-type: none"> ● 「1 はじめに」 項番 1 を修正 ● 「1 はじめに」 項番 8 を修正 ContextMenuを追加 ● 機能一覧「2.1.6画面アイテム」 水平線を横線に名称変更 ● 機能一覧「2.1.6画面アイテム」 縦線の追加 ● 機能一覧「2.1.6画面アイテム」 正方形/長方形の追加 ● 制限事項「4.2 アプリ作成機能」 項番 25を追加 ● 制限事項「4.2 アプリ作成機能」 項番 26を追加 ● 「5 これまでに判明している問題」 全て解消済みに変更
2012/03/30	第3版 <ul style="list-style-type: none"> ● 「1 はじめに」 の項番 8 を修正 jQuery Browserを追加 ● 「3.2 クライアント要件」のスマートフォンを追加 ● 「2 機能一覧」にパッチ 2 で追加した機能を追加 ● 制限事項「4.1 共通」 項番 3を修正 ● 制限事項「4.1 共通」 項番 4を追加 ● 制限事項「4.2 アプリ作成機能」項番 27を追加 ● 制限事項「4.2 アプリ作成機能」項番 28を追加 ● 「5 これまでに判明している問題」 項番 8を追加 ● 「5 これまでに判明している問題」 項番 9を追加 ● 「5 これまでに判明している問題」 項番 10を追加
2012/10/26	第4版 <ul style="list-style-type: none"> ● 機能一覧「2.1.4 採番ルール定義機能」を追加 ● 機能一覧「2.1.6 画面アイテム」イベントボタンの追加 ● 機能一覧「2.1.6 画面アイテム」採番の追加 ● 機能一覧「2.1.6.1 [参考] 明細テーブル列タイプ一覧」notを修正 ● 機能一覧「2.2 アプリ利用基本機能」にPDF出力機能を追加 ● システム要件「3.1 サーバ要件」にwkhtmltopdfの制約に関して追記 ● 制限事項「4.1 共通」項番 5を追加 ● 制限事項「4.2 アプリ作成機能」項番 25の該当画面アイテムを「セレクトボックス」から「リストボックス」に修正 ● 制限事項「4.2 アプリ作成機能」項番 29を追加 ● 制限事項「4.2 アプリ作成機能」項番 30を追加 ● 制限事項「4.2 アプリ作成機能」項番 31を追加 ● 制限事項「4.2 アプリ作成機能」項番 32を追加
2013/12/18	第5版 <ul style="list-style-type: none"> ● システム要件「3.2 クライアント要件」Internet Explorer10 を追加 ● 制限事項「4.1 共通」項番 7を追加
2014/04/01	第6版 <ul style="list-style-type: none"> ● システム要件「3.2 クライアント要件」Internet Explorer11を追加 ● 制限事項「4.2 アプリ作成機能」項番 30を削除

2014/05/09

第 7 版

- Microsoft のサポート終了に伴い、WindowsXP に関する記述を削除しました。
 - 「5 これまでに判明している問題」 項番 11 を追加
-